



Satoru Tamura exhibition

タムラサトル個展 「愛マシーン」

2014.1.17 fri - 2.14.fri

2.14バレンタインクロージングパーティ

愛マシーン/2013 鉄、チェーン、ベアリング、シャフト、モータ、他
H2500 W2050 D1350
© あいちトリエンナーレ 2013「企画コンペ」での展示風景

このたびテヅカヤマギャラリーでは、2014年度最初の展覧会としてタムラサトルの個展「愛マシーン」を開催いたします。

国内外の多くの美術展で精力的に発表し、世界各地のオーディエンスに衝撃と脱力の笑いを届けるタムラサトル2014年初めての個展のテーマは「愛」。

本展覧会の中心となるのは、2013年のあいちトリエンナーレで初披露された高さ2.5mにおよぶ巨大な“愛”マシーン。かすかなグリースの音を立てて回転する愛の字を象った極太のチェーンが意味するのは愛知の愛であると同時に愛=LOVEでもあることは言うまでもありません。今回はその愛マシーンを、本展のための新作“LOVE”マシーンや、マシーンシリーズの作品の中でも特に傑作の誉れ高い“ハート”マシーンと共にギャラリー空間に展示し、愛の足りない世界に向けて、これでもかというくらい濃密に愛をアピールします。加えて展覧会最終日は、バレンタインデー 2月14日。恋人たちの記念日に向けて街が浮き足立つ中、機械油の香りと胸焼けするほどの愛に満たされた空間に身を置けば、若人ならずとも心躍り、忘れかけたあの日の情熱を取り戻すのは間違いないでしょう。

また、本展と時を同じく、2011年のおおさかカンヴァスにて発表された“大阪マシーン”が、千島土地株式会社様のご厚意により、北加賀屋・クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)近くの展示スペースに設置されます。こちらも併せてご覧下さい。

過去の作品 (マシンシリーズ)



プラザノース開館5周年記念展 Domain of Art 11
タムラサトル展「大マシン」2013年8月(埼玉)

photo: Shinya Kigure
courtesy of PLAZA NORTH, Saitama



プーママシン
105 x 120 x 19 cm
鉄、チェーン、ベアリング、モーター、他
2013



ハートマシン #3
29 x 15 x 30 cm
鉄、チェーン、ベアリング、モーター、他
2012

マシンシリーズとは

「何の背景ももたない 思想的に真っ白な作品をめざし、意味の破壊をテーマ」に制作するタムラの作品シリーズのひとつ。内蔵されたモーターによりチェーンがある一定の動きに動き続け、タイトルが表す“そのもの”でしかない。

[関連展示]

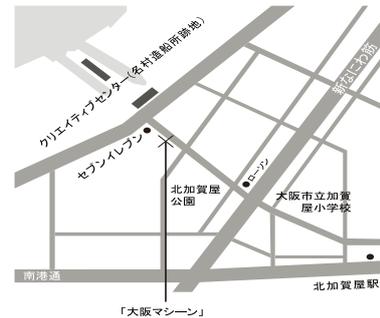
タムラサトル「大阪マシン」：おおさかカンヴァスで初披露した「大阪マシン」が北加賀屋・クリエイティブセンター大阪（名村造船所大阪工場跡地）近くの新スペースにて設置される事になりました。この機会に合わせてご高覧ください。



大阪マシン/ 2011

写真提供：おおさかカンヴァス推進事業（主催：大阪府）

大阪マシン展示場所



住所：大阪市住之江区北加賀屋 5-4-79

タムラサトル

- 1972 栃木県小山市生まれ
- 1995 筑波大学芸術専門学群総合造形コース卒業
- 2011 日本大学芸術学部非常勤講師

主な個展

- 2013 第1期 自画自讃 - 新たな物語づくりのために | Plaza Gallery (北) 埼玉
- 「Point of Contact #4」 | Nap Gallery 東京
- 「Point of Contact #5」 | TEZUKAYAMA GALLERY
- Volta 9 | スイス、バーゼル
- 2012 Art Osaka
- 'Machine' | N-Mark B1, Nagoya
- 2011 「AIRS 企画 Vol.4 「再考現学 Re-Modernologio」」 AIRS ハウス (青森)
- 「100の白熱灯のための100のスイッチ」 B GALLERY(新宿)
- 2010 「小山マシーン」小山市立車屋美術館 (小山)、
- 「キャッチ・アンド・リリース」 Art Center Ongoing (吉祥寺)
- 「ぐるぐるポカン」 鶴岡アートフォーラム (鶴岡)
- 2008 「Domein of Art 1 タムラサトル展」 プラザノース ノースギャラリー (さいたま)
- 2006 「14の白熱灯のための接点-新世代への視点'06-」 gallery Q (銀座)
- 2001 「Double Mountain」 Gallery ART SOKO (下高井戸)
- 1998 「Standing Bears Go Back」 現代美術製作所 (東向島)

主なグループ展

- 2013 「Re:Focus」 | TEZUKAYAMA GALLERY
- New City Art Fair- Japanese Contemporary Art | hgrp Gallery ニューヨーク
- Iron ∞ Man | Creative Center Osaka 名村造船所跡地
- アートフェア東京
- 2012 ACM Multimedia 2012
- Art Toronto | カナダ
- Multimedia Art Exhibition 2012 Eternal / Moment | 奈良
- 「六本木アートナイト 2012」 六本木ヒルズ他 (六本木)
- 「3331 アーティスト・イン・レジデンスプログラム成果発表 AIR 3331 展 vol.2」
- 3331 Arts Chiyoda (秋葉原)
- 「cover」 CAS (大阪)
- 「HOOLS」 Zachęta National Gallery of Art (ポーランド、ワルシャワ)
- 2011 「おおさかカンヴァス 2011」 大阪府咲洲庁舎 (大阪)
- 「所沢ピエンナーレ「引込線」2011」 所沢市生涯学習推進センター他 (所沢)
- 2010 「あいちトリエンナーレ 2010 企画コンペ」 長者町会場伏見地下街 (名古屋)
- 2009 「ゆらめく日常 アートの交差点 ～新進アーティストの視点～」 郡山市立美術館 (郡山)
- 「第12回 岡本太郎現代芸術賞展」 川崎市岡本太郎美術館 (川崎)
- 2008 「リバアールピエンナーレ 2008 "Pop Up" exhibition by Jump Ship Rat」
- セイント・ジェームス・ガーデン (リバアール、イギリス)
- 2007 「No Tatami Spot」 国立シヤイヨ劇場 (パリ、フランス)
- 2005 「ビクチャー・イン・モーション DeLuxe」 栃木県立美術館 (宇都宮)
- 「世界の呼吸法 アートの呼吸・呼吸のアート」 川村記念美術館 / 佐倉市立美術館 (佐倉)
- 「超 (メタ)ヴィジュアル 映像・知覚の未来学」 東京都写真美術館 (恵比寿)
- ／アンギャンレバンアートセンター (アンギャンレバン、フランス) 巡回
- 2003 「First Steps: Emerging Artists from Japan」
- P.S.1 Contemporary Art Center (ニューヨーク、アメリカ)
- 2002 「ニュー・メディア/ニュー・フェイス 02」 NTT InterCommunication Center (初台)
- 1999 「KIRIN CONTEMPORARY AWARD 1999」 キリンプラザ大阪 (中央区、大阪)

[展覧会概要]

タムラサトル 個展

「愛マシーン」 (あいましーん)

2014.1.17(金)-2.14(金)

OPEN : 11:00-19:00

CLOSED : 日・月祝

バレンタインパーティ : 2/14(金) 18:00- 作家在廊

会場：テヅカヤマギャラリー

大阪市西区南堀江 1-19-27

山崎ビル 2F

TEL 06-6534-3993

E-MAIL info@tezukayama-g.com

URL www.tezukayama-g.com

問合せ：担当 / 内田

